

## 平成三十年第一回定例会 提案理由説明書（三月二日追加提案）

ただ今追加提案しました議案は、第五十三号議案から第六十五号議案までの十三件であります。

### 一 補正予算の概要

はじめに、一般会計補正予算案について説明申し上げます。

今回の補正予算は、去る二月一日に成立した国の補正予算を積極的に受入れ、災害復旧や防災・減災対策を着実に実施するとともに、「安心・活力・発展プラン二〇一五」をさらに加速するための取組を、前倒しで実施する内容としています。以下、事業の主なものについて説明申し上げます。

#### （災害復旧と防災・減災対策）

まず、災害復旧では、次の作付時期に間に合うように、市町村と連携して、被災した農地や農業用施設の復旧を急ぎます。

さらに、災害に強い県土づくりを進めるため、河川の改良復旧や砂防ダムの整備、危険ため池の改修等の公共事業に取り組み、あわせて景気回復も後押ししてまいります。

#### （「安心・活力・発展プラン二〇一五」取組前倒し）

大分県版地方創生に向けて、安心・活力・発展の大分県づくりも前進させます。

安心の分野では、介護福祉士や保育士等を養成する専門学校等の修学資金や、潜在的な人材が再就職する際の就職準備金等を応援し、介護や保育現場の人材確保につなげてまいります。

活力の分野においては、農林水産業の構造改革を加速します。

まず、農業では、戦略品目である、こねぎやいちごのさらなる産出額向上を目指し、生産者の初期投資の負担軽減等を図るため、大規模リース団地の整備を支援します。

また、畜産では、地域内連携による畜産経営体の収益力向上を図るため、畜産クラスター計画に基づく畜舎等の整備に助成します。

林業・木材生産では、合板工場など木材加工施設の整備を支援し、県産材の新たな需要創出につなげます。

水産では、農林水産研究指導センターにおける、海面養殖業と内水面漁業の研究指導機能を、県北と県南の二つの拠点に再配置するため、疾病診断施設等を整備します。

また、海洋科学高等学校の大型実習船の更新については、平成三十一年度の香川県との共同運航開始に向け、建造を進めてまいります。

#### （基金の積み増し）

加えて、来年は、ラグビーワールドカップが開催され、本県の地方創生を強力に後押ししてくれるものと期待していますが、これに必要な経費の一部として、スポーツ振興基金に五億円を積み立てます。

### **(補正予算の額)**

以上が歳出の増ですが、他方、中小企業制度資金等についての執行状況を勘案した減や、予算執行段階における節約等を減額します。

この結果、補正額は、増減合わせ、百九十二億九千五百二十九万五千円の減額となります。

以上が、一般会計補正予算の概要であります。

このほか、特別会計では、公債管理特別会計など十の会計で、七十五億五千四百十九万八千円を増額するとともに、企業会計では、病院会計で十億三千八十四万四千円を増額しています。

以上をもちまして、提出しました諸議案の説明を終わります。

何とぞ、慎重御審議のうえ、御賛同いただきますようお願い申し上げます。